

第31回 CCNet北勢局放送番組審議会 議事録

1. 日時 2024年3月25日(月) 14:00~16:00

2. 場所 CCNet北勢局 会議室

3. 出席者 委員 安藤 邦晃 (朝明商工会 会長)
伊藤 仁 (川越町役場 企画情報課 課長)
水谷 和代 (子育てサポート ほっとまむ 代表)
駒田 早人 (朝日町役場 企画情報課 課長)
伊藤 学 (多度地区市民センター 所長)
西田 喜久子 (地域交流の広場ネットワーク 代表)

事務局 CCNet株式会社
水野 人志 (北勢局 局長)
三浦 宏司 (北勢局制作チーム チーム長)
稲垣 みなみ (北勢局制作チーム)
富安 亮太 (北勢局制作チーム)
假屋 祐貴 (北勢局制作チーム)

4. 議題

- (1) 2023年度下期自主制作番組編成結果について
- (2) 2024年度上期自主制作番組編成計画について
- (3) その他

5. 議事(要旨)

- (1) 2023年度下期自主制作番組編成結果について
事務局より説明を行いました。

・ご意見、ご質問

(西田委員) ウィークリープラス「初ロケ」に出演していた子は、多度小唄を踊って残そうという民踊保存会のイベントあったが、彼も踊っていた。
体験活動に参加して、とても積極的な子で映像を見て懐かしく感じた。

(安藤委員) 「初ロケ」の出演者はどうやって探したのか。

(事務局) 彼からのオファーだった。彼から直々に「富安と一緒に映りたい」という声があり、この企画ができた。放送後、番組を見た他の視聴者からも出演したいとの問い合わせがあり、企画を継続している。

(伊藤学委員) 子どもを題材にした企画は地元地域では関心があると思うので、今後も届けてほしい。

(駒田委員) 自治会のコミュニティが希薄化しているので広めるのが大切だが、広報誌などではなかなか雰囲気伝わらない。ウィークリーのように番組内で地域のイベントが盛り上がっているところを撮影してほしい。また、コロナが終わってきたが、この地域ではどのような状況だと感じているか。

(事務局) 地域イベントを再開することに力を注いでいるようだが、自治会でも苦労しているのだと思う。やめてしまったものを復活させるにしても、当時の担当者が変わり、ノウハウの共有が出来ておらず大変なのではないか。「地域でこういうイベントをしている」というのをテレビで伝えるのがケーブルテレビにとって大切だと感じている。

(水谷委員) ウィークリーかわごえで放送していたスマホ教室の開催について、元々スマホ教室自体、年配の方には難しいのではないかと感じていたが、なかなか質問することができないことも聞けて参加者から良かったという声をもらっている。

(伊藤仁委員) 行政番組で取材もしてもらっているが、ウィークリーのように地域の行事を取材してもらうのはとても大切で今後も続けてほしい。地域の情報をどこから収集しているのか。

(事務局) 地元区長様からの聞き取りや地域の方からの口コミ、そのほか広報誌やインターネットなどから収集している。

(伊藤仁委員) 依頼がブッキングしたときは取捨選択が必要だと思う。また、他社の特別番組を放送する選定基準はあるのか。

(事務局) 決まった基準は設けていない。他社との情報共有が盛んになり番組の編成機会が増えている。民放も地元志向が強くなっているので、ケーブルテレビはより地域に根差したものにしていこうということで今回は地元の高校生が参加している高校イベントを放送した。

(伊藤仁委員) 当日見に行けない人もいるので今後こういう企画も良いと思う。

(安藤委員) 川越町のミニトマトは本当に美味しいので、もっと大々的にアピールしてもらえれば嬉しい。

(西田委員) 番組が繰り返し放送されるのはありがたい。何日の何時しか見られないというわけではないので、高齢者にとっても見逃した人にとってもありがたい。番組で紹介することによって、この方法であれば私達でもイベントなどをやれるのではないかと考える様になっている。
高校生の特別番組について、小学校・中学校のイベントの放送はあるが高校行事の放送はあまりないので喜ばれる方が多いと思う。
スマホ教室は地区の社会福祉協議会で話していたが、好評だったので今年もぜひお願いしたい。

(2) 2024年度上期自主制作番組編成計画について
事務局より説明を行いました。

・ご意見、ご質問

(伊藤仁委員) 既存番組を終了することは、自主制作番組の充実感がなくなるといっていいか。ウィークリープラスのネタ探しは大変だと思うので毎週更新ではなくなるということでもいいか。

(事務局) 新規番組を開始するための終了であり、減少する訳ではない。
ウィークリープラスについては、現状の体制では業務過多となっており更新周期を毎週から半月更新に変更する。番組内容を工夫しながら充実させていく。

(水谷委員) 子どもの居場所づくり、子どもサロンの紹介などをどんどん取り上げてほしい。今は子どもと高齢者の接する場が少ないので、昔はこういう風だったよ、という番組があれば嬉しい。

(駒田委員) 「教えてSDGs！」の番組ですが、SDGsは大人でも理解が難しいと思うので放送を楽しみにしている。

(西田委員) SDGsカードゲームで思い出したのだが、避難所運営ゲームがあると思う。今年は能登半島地震もあったので、防災関係にも力をいれてはどうか。

(事務局) 今後の番組づくりの参考とさせていただく。

(伊藤学委員) 三重テレビで選抜出場が決まった学校を特集した番組を見た。試合を流すのもいいが、それだけでなくチームの紹介や情報、優勝校の特集などもいれてはどうか。

(事務局) 他社との協業番組となるが、「ケーブルNews」にて北勢エリア内の高校野球出場校とエリア外の強豪校含め放送を行っている。今年については未定であるが、実施する方向で他社と調整していく。

(安藤委員) 能登半島地震で連日ニュースなどにもなっているが、川越・朝日も被災地に職員を派遣している。そういう職員にインタビューをして、自分の目で見てきたことを放送してみてもどうか。

(伊藤仁委員) 広報かわごえにも特集を掲載している。

(事務局) 今後の番組づくりの参考とさせていただく。川越町の行政番組内にて防災週間の時期に合わせて特集を検討中である。

以上